

平成 26 年度事務事業評価調書

事 業 コ ー ド	04020601	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事 务 事 業 名	森林環境保全整備直接支援事業	担 当 部 署 名	地域振興課
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明 内線 455
第4次総合計画 体系	(基本柱) 04観光・産業・地域振興	(基本施策) 02農林業の振興	(細施策) 06間伐などの林地保全
実 施 期 間	<input type="checkbox"/> 单年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度～ 年度)	実 施 方 法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 法令等の名称		<input type="checkbox"/> 義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画に基づく森林整備に対して支援し、効率的で持続的な森林施業を確保する。 ・林業不況などの影響により、手入れが行われず放置された森林を再生し、将来にわたって保全し、木材の安定供体制を整える。 <p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切捨・搬出間伐の実施 ・路網整備 	村内森林所有者(経営計画作成者・作成予定者)
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたい)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
森林を保全するとともに木材を利用することで、林業の再生につなげる。	予算の確保

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費						
		24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)
			事業費(予算)	実績(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		500	2,220	2,220	2,846	3,000
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金					
	府 支 出 金					
	分 担 金・負 担 金					
	使 用 料・手 数 料					
	起 債					
	そ の 他 の 特 財					
一 般 財 源	500	2,220	2,220	2,220	2,846	3,000
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	589	589	589	589
総コスト費(千円)(A+C)	1,055	2,809	2,809	3,435	3,589	
人口あたりコスト(円)	174	464	464	567	592	
(2)成果指標等						
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度		26 年度 目標値
				目標値	実績値	
①	目標指標	事業量	ha	11.1	11.1	100%
②	目標指標					
③	目標指標					

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証

評価項目	評価結果				評価の理由及びその考え方	
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村の山林の森林整備計画にのっとって施業している。			
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	森林保全や治山治水に有効である。			
③効率性 ※効率的に進められているか	3	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	森林経営計画に沿って施業されている			
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	国、府、村、受益の負担割合が明確にされている。			

○事務事業評価値
(①~④の合計／16) **12** /16 **75%** (B)

(2)検証結果

目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	75%	88%	b a:90%以上(現状維持又は拡充) d:30~49%(休止・廃止又は縮小) b:70~89%(見直し又は現状維持) e:30%未満(休止・廃止) c:50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性

①改善の方向性(自己評価)

B

← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止

②改善の方向性の理由、改善するまでの具体的な改善策や課題等

なし

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果

効率的で持続的な森林施業を確保、また木材の安定提供体制を整えるにあたり、引き続き実施していく必要があると考える。	B A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------

(2)第三者による有識者会議結果

	A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
--	--------------------------------------------

(3)行政経営戦略会議結果

効率的で持続的な森林施業を確保、また木材の安定提供体制を整えるにあたり、引き続き実施していく必要があると考える。	B A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------